



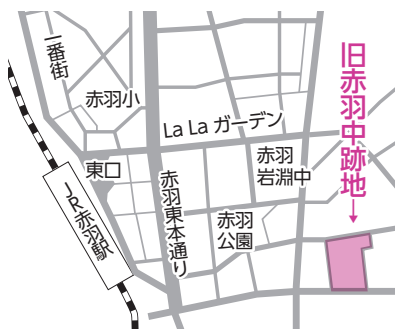
志茂1丁目 旧赤羽中 跡地

利活用計画が具体化

総合病院、介護老人保健施設、保育所を誘致

事業者からの主な提案内容

- 災害発生時における**避難場所、垂直避難施設**
- 定員100名程度の**認可保育所**、病院と連携した新しい保育体制・病児保育
- 総合病院と介護老人保健施設**の一体運営
- 敷地内に500㎡の**道路事業代替地**（今後都和協議）
- 建物には**交流スペース**を設け、北区や地域と連携・交流



北区は4月17日のプレスリリースで、旧赤羽中跡地利活用についての公募型プロポーザルの結果を公表しました。跡地に、総合病院、老健施設、保育所などを整備する提案内容となっています。（のの山けん）

今回のプロポーザルで契約交渉順位第1位となったのは、赤羽中央病院を運営する医療法人社団博栄会と、グループ構成企業となるライクアカデミー株式会社です。

事業者の主な提案は、

- ―安全で災害に強いまちづくりのための有効活用として、災害発生時における避難場所、垂直避難が可能な構造にする。
- ―保育所待機児童の解消として、定員100名程度の認可保育所、病院と連携した新しい保育体制

制・病児保育を行う。

―介護と医療機能の確保として、北区医師会や地域医療機関との連携、予防医療の推進、救急機能、地域住民密着型の総合複合施設として総合病院と介護老人保健施設、在宅医療との一体運営を行う。

―敷地内に道路事業用の代替地を約500平方メートル程度設ける（詳細について今後東京都と協議）。

―建物には交流スペースを設け、北区や地域との連携・交流を促進する。

―というもので、北区は今後、事業者と詳細内容の協議を行い、協議が整った段階で、速やかに覚書を締結するとしています。

同跡地は50年の貸付契約となり、北区が解体工事を行った後、事業者が施設の建設に入り、2021年の開設を目指す計画となっています。

憲法9条守りぬこう No War Kitaku Action



6日は赤羽駅西口でNo War Kitaku Action。そねはじめ都議と党区議員は、安倍内閣による9条改憲をストップさせ、憲法を守ろうと訴えました。（のの山けん）

南北会談で注目される韓国。大ヒットの映画や話題の書籍から、民主主義の原点を探ってみました。(のの山けん)



5.18光州事件の真実に迫る意欲作

映画「タクシー運転手」(チャン・フン監督)

私が大学に入学したのが、学園紛争の余波が残る1982年。その頃、韓国の軍政権下で起きた弾圧と、学生らの抵抗のことをよく耳にした。それが1980年の5・18光州事件であり、今回の映画で描かれている舞台である。

民社会を覆っていた。命を賭して真実を追い求める記者、不当な支配に頭を垂れず立ち向かう学生とそれを支える家族や市民たち。その姿にふれ、「韓国ほど住みやすい国はない」と学生の抵抗を蔑んでいた主人公が変化してゆく様は圧巻。支援者は何と、弾圧する側の中にもいた。

「弁護士」を彷彿させるソン・ガンホの熱演。時に目を覆いたくなる弾圧の描写が続く中で、ユーモアに満ちた演技が観る者を絶望から救う。こういう役をやらせたら右に出る者はないだろう。

脚色に加えられ、実話といるとはいえ、実話という重みが説得力を持つ。不正を許さぬ民衆の叫びに、韓国民主主義の力強さを見た。

民衆が主人公の韓国民主化運動

グラフィック・ノベル「沸点 ソウル・オン・ザ・ストリート」(チェ・ギョソク著)



朝鮮戦争後の韓国で、朴正熙大統領による長期軍部独裁の後に訪れた一瞬の自由な時期(「ソウルの春」と呼ばれる)は、全斗煥のクーデターによって、再び軍部独裁に引き戻される。国会もマスコミも軍部に牛耳られる下で、沈黙するほかなかった民衆が声をあげる転機となったのが光州事件で、その7年後の1987年に、軍部独裁を打倒する6月民主抗争が起きた。この間の韓国民主化運動を劇画で描いたのが「沸点」である。

のは学生やサラリーマン、主婦など一般の市民であった。「沸点」に登場する主人公の学生クオン・ヨンホと、彼をとりまく家族や友人は、それぞれがひとりの民衆としての立場で6月民主抗争に参加してゆくこととなる。この伝統は、朴槿恵前大統領を追いつめた「ろうそくデモ」にも引き継がれており、韓国民主主義の根幹をなすものである。

自らの力で政権を変えた経験を持つことは、およそ存立の基盤を失っている安倍内閣が、未だ政権の座に居座っている日本と決定的に違う点であろう。

民衆弾圧のテコとされたのが徹底した反共主義。民主化の前進は、ここからの脱却をも促す力となっている。